

経団連提言「[Society 5.0の扉を開く \(2022-04-12\) \(keidanren.or.jp\)](https://www.keidanren.or.jp)」  
No76 (2) 「消防設備の設置等に関する審査基準の統一・公開」

東洋エンジニアリング株式会社

# 目次

## 要望内容「消防設備の設置等に関する審査基準の統一・公開」

- 1) 要望事業者の会社紹介
- 2) 要望内容の要旨
- 3) 消防設備を設計施工するための法律・条例の体系
- 4) 各自治体で各々の行政指導指針を持つ背景
- 5) 基準の公開の重要性(事業者側からの目線)
- 6) 基準の統一について 事例1
- 7) 基準の統一について 事案2
- 8) まとめ

# 1) 要望事業者の会社紹介

## □ 東洋エンジニアリング株式会社

石油化学、石油・ガス処理、資源開発、発電など、多岐にわたる領域のプラントを設計・建設を主に遂行するエンジニアリング会社であり、国内各地および世界各国にプラント建設・インフラの整備を行う会社。





## 2) 「消防設備の設置等に関する審査基準の統一・公開」 要望内容の要旨

参照：提言「[経団連：Society 5.0の扉を開く \(2022-04-12\) \(keidanren.or.jp\) No.76 \(2\)](#)」



### □ 要望内容の要旨

消防設備の設置等に関し、所轄消防と消防折衝を行う際に、法律等に加え、地域独自の行政指導指針に則り、指導されることがありますが、行政指導指針が公開されていないことがあります。一般に所轄消防からの行政指導は設計・施工に盛り込む必要がありますが、設計の初期段階から指導指針の内容を満たしていない場合、設計の変更や設計変更に伴う時間遅れ、追加作業、コスト増が発生します。

それらを改善するため、各所轄消防の行政指導指針をインターネット上で一般公開・検索性の向上を要望し、必要に応じ、基準の統一していただきたいというのが要望内容です。

### □ 期待される効果

- ・ 事業者目線：
  - a)各地域の特殊性の早期の理解(サプライズの回避)
  - b)所轄消防との確認作業の減少(特殊性の確認時間の減少)
  - c)設計初期から各地域の基準に従った設計が行えることで、作業効率の向上や追加コストのリスク回避
- ・ 所轄消防目線：
  - a)事業者の基準への理解の深化 => 所轄消防が望む設備の設置・人命の保護
  - b)事業者との打ち合わせ時間の減少
  - c)市町村相互間での基準の比較